



かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp
http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 3月号
平成23年2月28日
横浜市立川島小学校
校長 小池 慎一

TEL 371-0757
FAX 381-7248

だるまおくり

副校長 石塚 直実

啓けい蟄ちつを控ひかえ、本格的な春ほんかくてき はるの訪おとずれが待またれる頃ころとなりました。沈じん丁ちやう花げがもうすぐ、芳かんばしい香かおりを漂ただよわせることでしょう。そして、3月19日には75名の卒業生そつぎやうせいが本校を巣立ほんこうっていきます。下級生かきやうせいをあれほど可愛かわいがった6年生ねんせい。きっと素晴らしい卒業式そつぎやうしきになることでしょう。さて、私わたしは「金子みすゞかねこ」が大好きだいすです。その中なかで、一番心いちばんこころに残のこる詩しを紹介しょうかいしましょう。

だるまおくり

白勝ひだりった、白勝しった。

左ひだりの詩しは、わたしが3年生ねんせいの担任たん任にんをした時ときに、金子みすゞかねこ

そろって手をあげ

の世界せかいに子どもたちを誘いざないたくて、探さがし当あてた詩しです。その時とき

「ばんざあい」

の子どもたちの感想文かんそうぶんで、詩しの中なかの「先生せんせい」に次つぎのように書かい

赤組このほうを見て「ばんざあい」ている子がいました。

だまってる赤組せんせいよ、

「先生せんせいはなぜ、も一つひとと言いったのですか。ばんざあいをみんな

秋のお屋あかの日の光あかぐみり、

なでしたのだから、もういいじゃないですか。ころがっている

土あかによごれて、ころがって、

赤あかいだるま。赤組あかぐみだって一生いっしょう懸命けんめい練習れんしゅうやっと思おもいます。

赤あかいだるまがてられてる。

すこし小聲こごえになった白組しろぐみ。わかるような気きがします。」

も一つと

日本にほんの社会しゃかいが、弱肉強食じやくにくきやうじやくの価値観かちかんに覆おおわれつつある昨今さっこん。

先生かねこがいうので



金子みすゞの「他者たしやに対するやさしいまなざしたい」をもう一度取いちどとり

「ばんざあい。」

戻もどし、大切たいせつにしたいものです。

すこし小聲せんじつになりました。

先日せんじつ、家いえに帰かえるとテーブルの上うえに手紙てがみがありました。もう寝ね

『金子みすゞ童謡集』

ついた子どもたちからの手紙てがみでした。その優やさしい言葉ことばに心こころが

わたしと小鳥さいわとすずと』

ゆれました。幸さいわいなことに「幼おきなきもの弱よわきもの、はかなきも

(JULA出版局)より

の対たいする優やさしい眼差まなざし」に本校ほんこうは満みち、支さえられ、守まもられ

ています。その眼差まなざしは正まさに日本にほんの希望きぼうの掛橋かけはしだと思おもいます。